



平成 19 年 7 月 23 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 キ ャ ン ド ウ  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 城 戸 博 司  
(コード番号:2698 東証第一部)  
問 い 合 わ せ 先 取 締 役 管 理 部 長 武 藤 真 朗  
電 話 番 号 03-5944-4112

## 特別損失の計上、業績予想の修正及び連結決算の開始に関するお知らせ

平成 19 年 11 月期 (平成 18 年 12 月 1 日～平成 19 年 11 月 30 日)の中間期及び通期におきまして下記のとおり特別損失を計上する見通しとなりました。併せて、個別業績予想を修正いたします。また、平成 19 年 11 月期より連結財務諸表を作成することになりましたので、連結業績予想をお知らせいたします。

### 記

#### 1. 特別損失の計上について

当中間期におきまして、前期より実験的に開始した新業態店等、売上不振店舗の固定資産について、減損損失 324 百万円を計上いたします。また、主として不採算店舗の閉鎖や相手先都合の退店により、固定資産除却損を当中間期に 213 百万円、下期に 230 百万円計上する見込みであります。

上記に加え、連結子会社である株式会社ル・ブリュで下期に 12 店舗閉鎖、33 店舗改装を計画しており、連結ベースでは通期で固定資産除却損 198 百万円を計上する見込みであります。

#### 2. 平成 19 年 11 月期 個別業績予想の修正(平成 18 年 12 月 1 日～平成 19 年 11 月 30 日)

##### (1) 中間期(平成 18 年 12 月 1 日～平成 19 年 5 月 31 日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前 回 予 想 ( A )	35,177	1,132	277
今 回 修 正 ( B )	34,117	1,059	176
増 減 ( B - A )	1,060	73	101
増 減 率	3.0 %	6.4 %	36.5 %
(ご参考)前中間期実績	33,544	1,323	286

#### (修正の理由)

当中間期は、既存店売上高の回復に努め、一部店舗ではその効果が表れたものの、全体としては加工食品部門の不振もあり想定した回復には至りませんでした。新規出店は 36 店舗を計画しておりましたが、子会社となった株式会社ル・ブリュの 45 店舗が連結ベースで増加したため、当社の出店は 23 店舗に抑制しました。一方、退店は 20 店舗の計画に対して 27 店舗と上回り、中間期末店舗数は前期末比 4 店舗減の 819 店舗となりました。以上により売上高は前回予想を 1,060 百万円下回りました。

利益面では、売上総利益率は計画どおりに推移したものの、既存店売上高不振のため人件費等の固定費負担率が高まりました。一方、為替相場が円安傾向で推移したため、デリバティブによる為替の評価益および実現差益を合わせて 108 百万円計上しました。これにより経常利益は前回予想比 73 百万円の未達にとどまりましたが、前述のとおり特別損失を計上するため当期純利益は前回予想を 101 百万円下回る見込みであります。

(2) 通期(平成 18 年 12 月 1 日～平成 19 年 11 月 30 日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想 ( A )	70,650	2,200	592
今回修正 ( B )	66,500	1,906	424
増減 ( B - A )	4,150	294	168
増減率	5.9 %	13.4 %	28.4 %
(ご参考)前期実績	66,574	2,103	500

(修正の理由)

下期におきましても、出店は抑制、不採算店舗の閉鎖を加速する方針であり、当期末店舗数は782店舗と通期で41店舗減少を計画しております。また、既存店売上高は雑貨アイテムの強化等による回復を見込みますが、当初の予想よりも回復が遅れていることを勘案し、上記のとおり業績予想を修正いたします。

3. 平成 19 年 11 月期 連結業績予想(平成 18 年 12 月 1 日～平成 19 年 11 月 30 日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
中間期	34,090	1,021	138
通期	67,580	1,786	105

(連結業績予想の前提)

当中間期において、株式会社ル・ブリュの全株式を取得し、連結子会社としたため当期より連結財務諸表を作成いたします。なお、子会社株式のみなし取得日は中間期末日となるため、子会社の業績は中間期には反映されませんが、中間連結財務諸表を作成する上で必要な調整により中間連結損益計算書は単体の中間損益計算書と差異が生じます。株式会社ル・ブリュは当下期中にスクラップと継続店舗すべての改装を完了し、商品調達の仕組みの見直しを行って収益力の改善を図る予定ですが、その効果は来期より現れる見通しであります。また、改装に伴う特別損失を計上いたします。以上により、当期におきましては連結業績が単体業績を下回る見込みであります。

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上